

全国初！

フランス「ディジョン国際ガストロノミー展」に出展！！ 10月31日(木)～11月3日(日)@ディジョン市

広島県を代表する県産品である「牡蠣」と「日本酒」等の海外販路拡大を目指し、世界屈指の美食の国フランスで重要な食の発信拠点であるブルゴーニュ地域圏の首府ディジョン市で開催される「ディジョン国際ガストロノミー展（※）」に初出展します。この展示会で日本をテーマとするエリアができるのも初です。

（※1921年から毎年開催されている国際的な食と物産の展示会。例年、フランスだけでなくヨーロッパ各国から約16万人の来場者を集めている。）

なお、展示会には県職員も参加しますので、事前に連絡をいただければ、写真などの素材を提供することも可能です。お気軽にお問い合わせください。

開催日

令和6年10月31日(木)～11月11日(月)

【広島県の出展は10月31日(木)～11月3日(日)】

主催

ディジョンブルゴーニュイベント
Dijon Bourgogne Events

開催場所

パークデエクスポジションエコングレドディジョン
Parc des Expositions et Congrès de Dijon

来場者数

約16万人(見込み)

展示会出品品目

牡蠣、日本酒、調味料等



ガストロノミー展会場



ディジョン市

展示会参加の背景

- 広島県では、世界的にニーズの高い牡蠣を輸出の重点品目と位置づけ、令和3年度からアジアやEU市場等をターゲットに、商流構築及び販路拡大に取り組んでいます。全世界の牡蠣の輸入額の約3割を占めるEU市場は、より高単価で付加価値のある冷凍殻付き牡蠣のニーズが高いため、輸出に向けた協議・調整を国や事業者等との間で進めてきました。その中で、県内の牡蠣事業者が世界で最も厳しい衛生管理基準といわれるEU向けHACCP認証を全国で初めて取得し、令和4年2月からEUに輸出を開始しています。
- 日本酒については、平成26年に、県内酒造会社と広島県日本酒ブランド化促進協議会を設立し、フランスをターゲットに、現地販売代理店の設置による小売店やレストランへの営業活動、プロモーション、情報発信などを通じて、県産日本酒のフランスでの販路拡大とブランド化に向けて取り組んでいます。
- また、ブランド化を進める中で、ワインの生産地として名高いブルゴーニュ地方の独立系ワイン生産者組合ブルゴーニュ・ジュラ地方連盟と広島県は、令和2年3月に「広島・ブルゴーニュ産酒類ブランド価値向上に向けた取り組みに関する基本合意書」を締結しました。その合意書に基づき、ブルゴーニュ・ジュラ地方のM.O.F.（※）ソムリエであるフィリップ・トルサル氏を広島県産日本酒アンバサダーに任命しています。
※ M.O.F.とはフランスの職人に与えられる最高峰の称号で、フランス国内のソムリエの中でも特にM.O.F.を取得しているソムリエは、フランスの飲食業界に多大な影響力を持っている。
- 上記の取組みに加えて、昨年10月には知事がトップセールスを行い、「ディジョン国際ガストロノミー展」への出展が決定しました。現地では、牡蠣と日本酒とのペアリング、牡蠣料理の提供を通じたプロモーションを行います。さらに、日本酒については、広島県産日本酒アンバサダーによる日本酒のテイastingノートを作成し、香味を的確にとらえた表現で味わいなどを消費者に伝えることで、広島県産日本酒の理解を促し、購入につなげます。
牡蠣と日本酒といった県産品の組み合わせを生かし、輸出の拡大に繋げるとともに、広島県のブランドステートメントの1つである「おいしい広島」の価値が海外でも定着・浸透することを目指します。



「広島・ブルゴーニュ産酒類ブランド価値向上に向けた取組に関する基本合意書」の締結



広島県日本酒アンバサダー
フィリップ・トルサル氏

お問合せ先

広島県商工労働局県内投資促進課（担当：田中）

☎082-513-3385

syosokushin@pref.hiroshima.lg.jp